



# 2022年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2021年10月29日

# アジェンダ



## 決算報告

取締役 佐伯 幸雄

## 2022年3月期 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之



# 決算報告

取締役 佐伯 幸雄

# 2022年3月期 中間決算トピックス



## 前年同期比 増収増益

売上高 33.7% 増加

経常利益 96.7% 増加

親会社株主に帰属する当期純利益 221.4%増加

東京証券取引所 新市場区分「プライム市場」の選択申請を決議

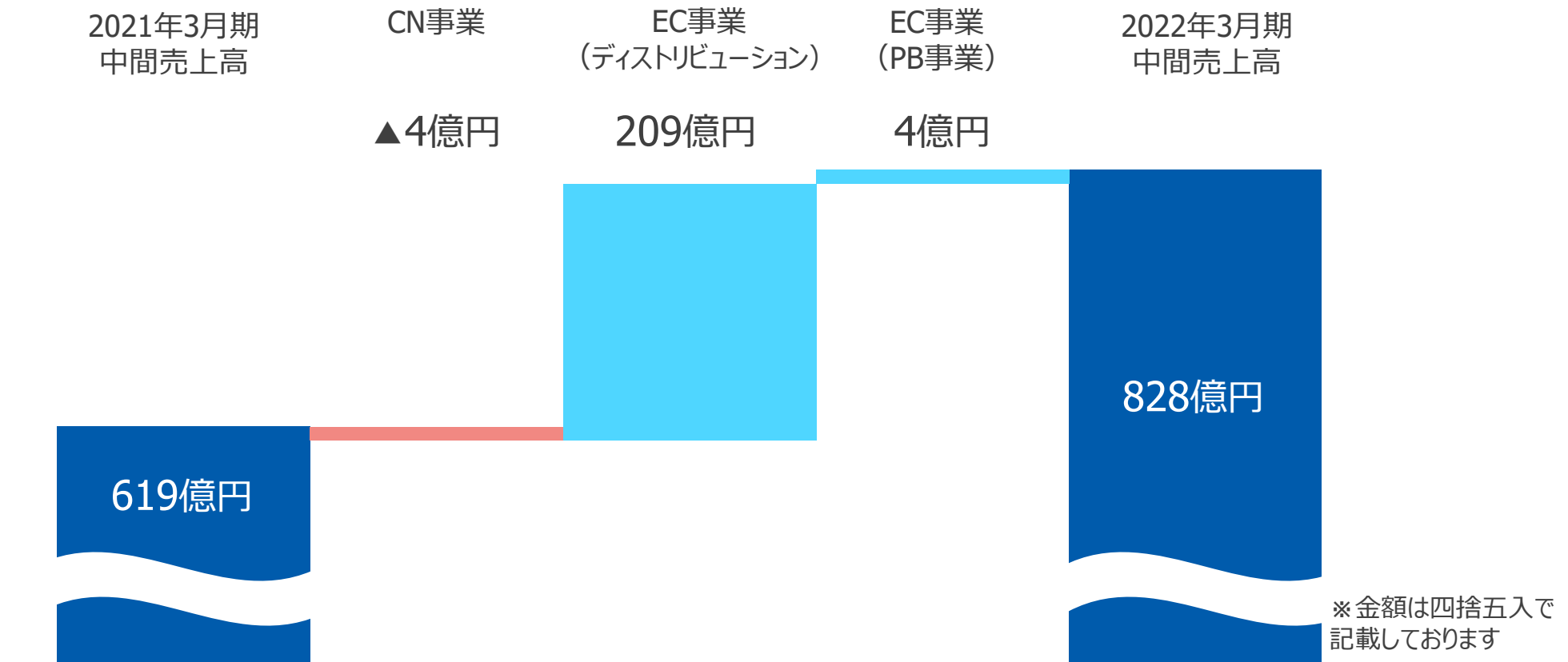
# 業績概要 前期比



	2021年3月期 中間	2022年3月期 中間	増減額	2022年3月期 修正上期予想
売上高	61,901	82,780	20,878	81,000
売上原価	53,126	71,517	18,391	
売上総利益	8,775	11,262	2,486	
販管費	7,653	8,505	851	
営業利益	1,122	2,757	1,634	
営業外収益	187	137	▲50	
営業外費用	48	412	364	
経常利益	1,261	2,481	1,220	2,000
中間純利益	823	2,646	1,822	2,400
従業員数	1,250名	1,280名	30名	

※ 中間純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益  
東京エレクトロン デバイス

# 業績概要 売上高 増減



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。  
PB事業とは、プライベートブランド事業の略称であり、従来の呼称である自社ブランド事業を呼称変更しております。  
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

# セグメント別 売上高・利益

- CN事業 代理店契約解消 新会計基準の適用により売上減少  
人員増による販管費増加でセグメント利益減少
- EC事業 半導体の供給問題あるも 商権拡大 所要増により 売上高 利益ともに大幅増加  
(百万円)

	2021年3月期 中間		2022年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
コンピュータシステム関連 (CN)事業	10,426	1,040	10,002	▲423	918	▲122
半導体及び電子デバイス (EC)事業	51,475	221	72,777	21,302	1,563	1,342
合計	61,901	1,261	82,780	20,878	2,481	1,220

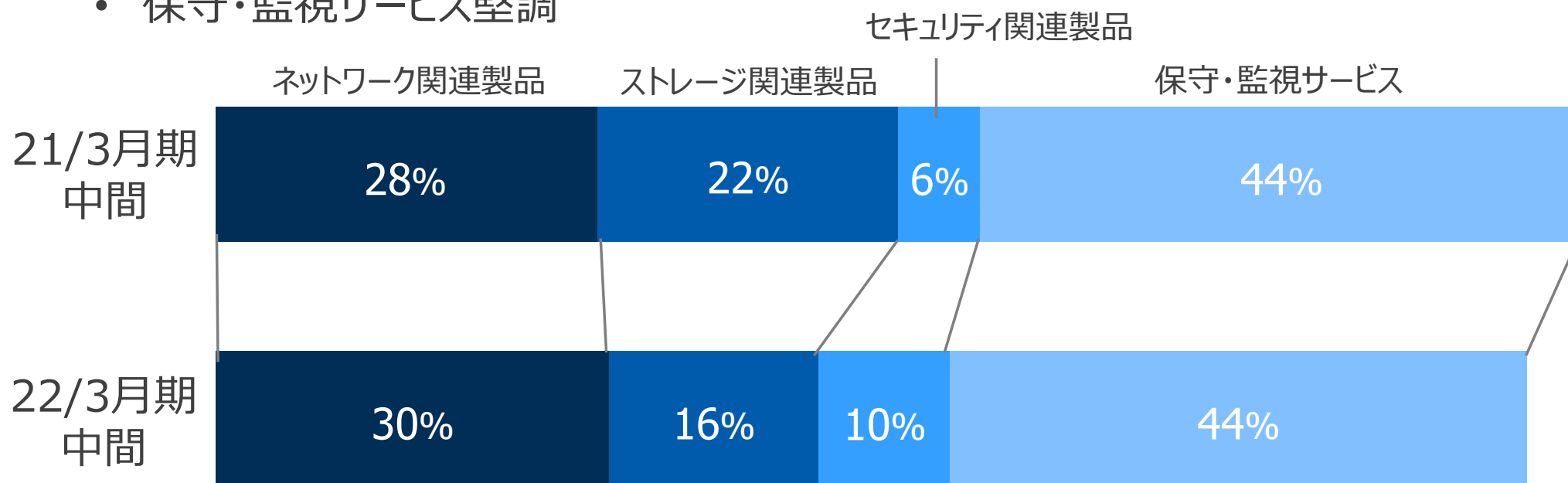
※ セグメント利益は経常利益  
 ※ セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

# セグメント情報 CN事業 (1/2)



## 品目別売上高構成比

- ネットワーク関連製品 データセンター・クラウド事業者向け堅調
- ストレージ関連製品 代理店契約解消により減少
- 保守・監視サービス堅調



※ CN事業 品目別売上高構成比は分類を変更しております。

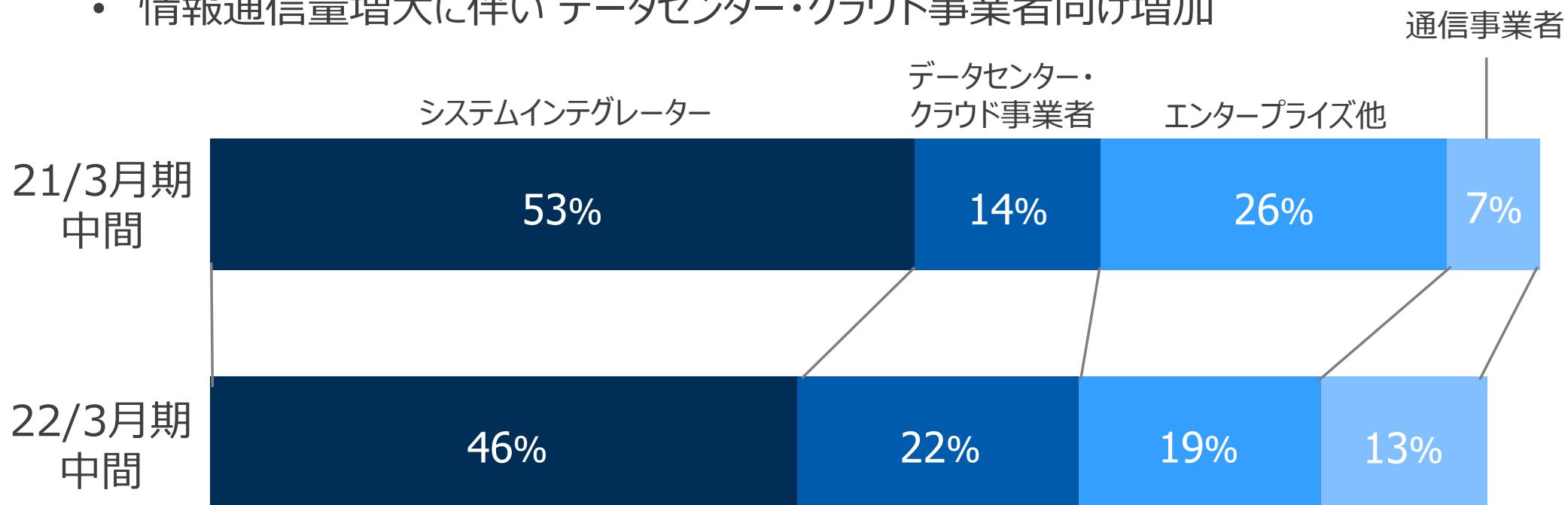


# セグメント情報 CN事業 (2/2)



## 分野別売上高構成比

- 代理店契約解消により システムインテグレーター向け減少
- 情報通信量増大に伴い データセンター・クラウド事業者向け増加

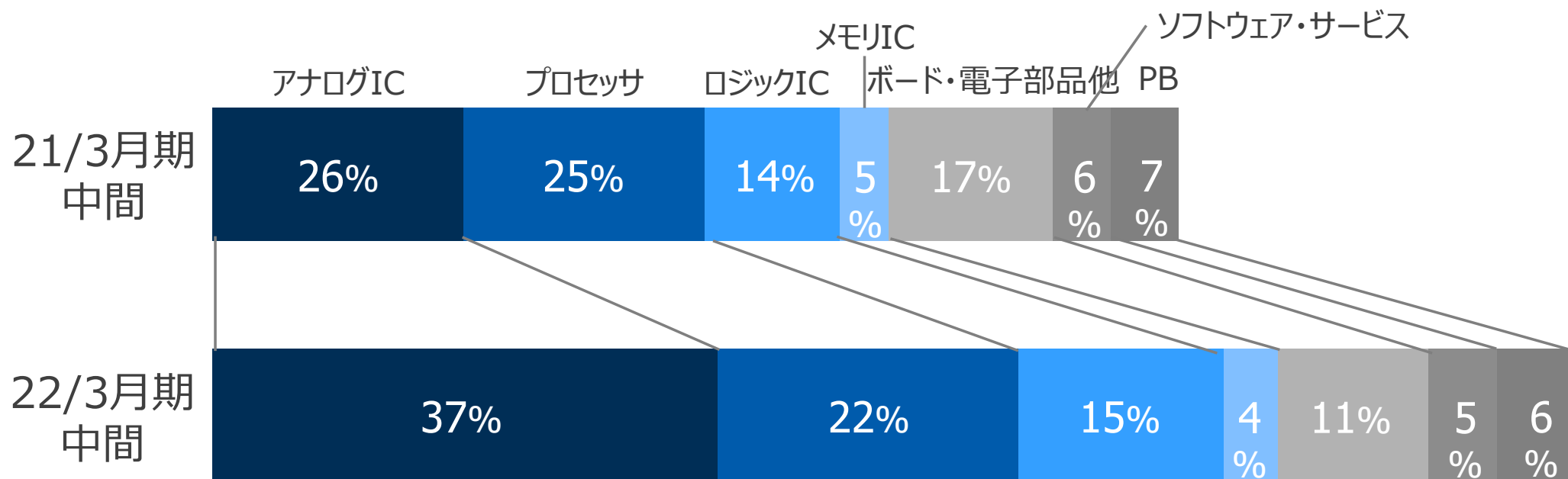


# セグメント情報 EC事業 (1/2)



## 品目別売上高構成比

- アナログIC 産業機器 大幅増加
- ボード・電子部品他 代理店契約解消により減少



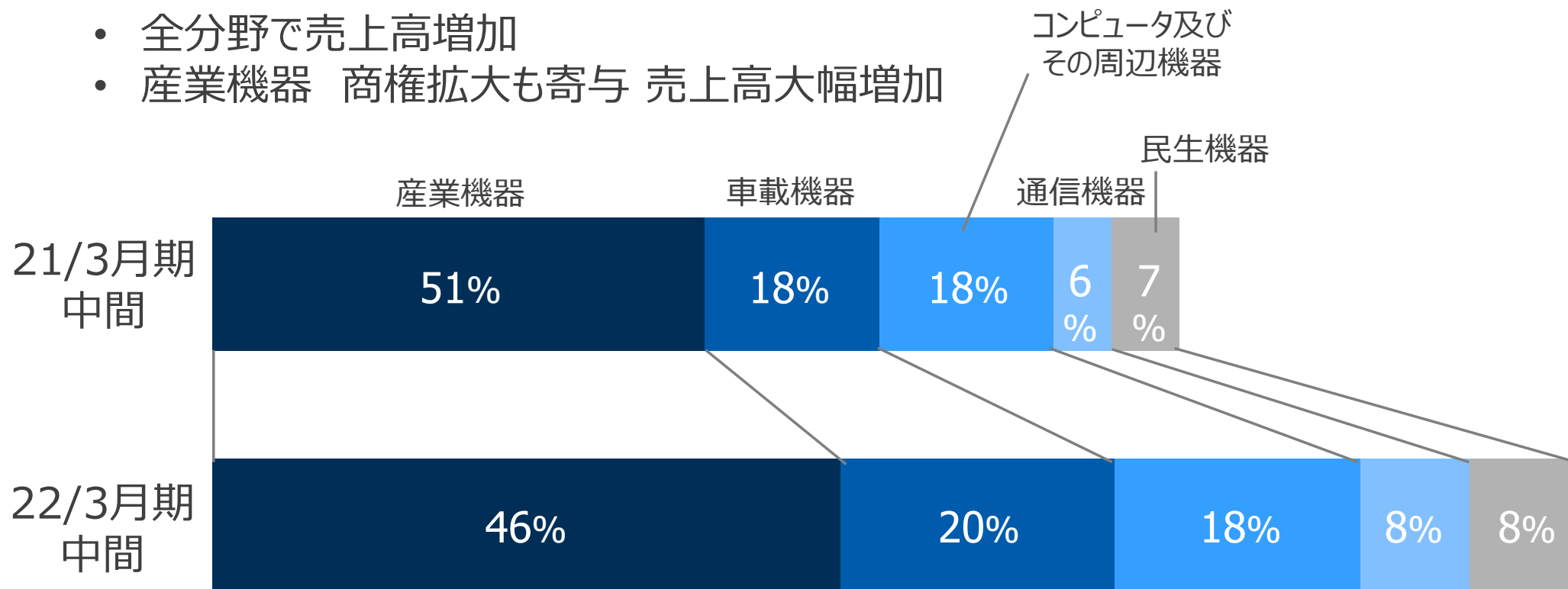
※ EC事業 品目別売上高構成比は分類を変更しております。

# セグメント情報 EC事業 (2/2)



## 用途別売上高構成比

- 全分野で売上高増加
- 産業機器 商権拡大も寄与 売上高大幅増加



# 海外連結子会社 売上高 EC事業



- 車載機器 コンピュータ及びその周辺機器 増加

	2021年3月期 中間	2022年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	13,123	20,931	7,808	59.5%
海外連結子会社 売上高比率	25.5%	28.8%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	122	190	67	55.3%
為替レート(円)	106.93	109.81		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

# PB事業 売上高 EC事業



- 設計・量産受託サービス
  - TED長崎
  - ファースト
- 医療機器 放送機器 半導体製造装置向け回復  
半導体製造装置向け堅調  
パネル検査装置堅調

(百万円)

	2021年3月期 中間	2022年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	3,904	4,261	356	9.1%
売上高比率	7.6%	5.9%		

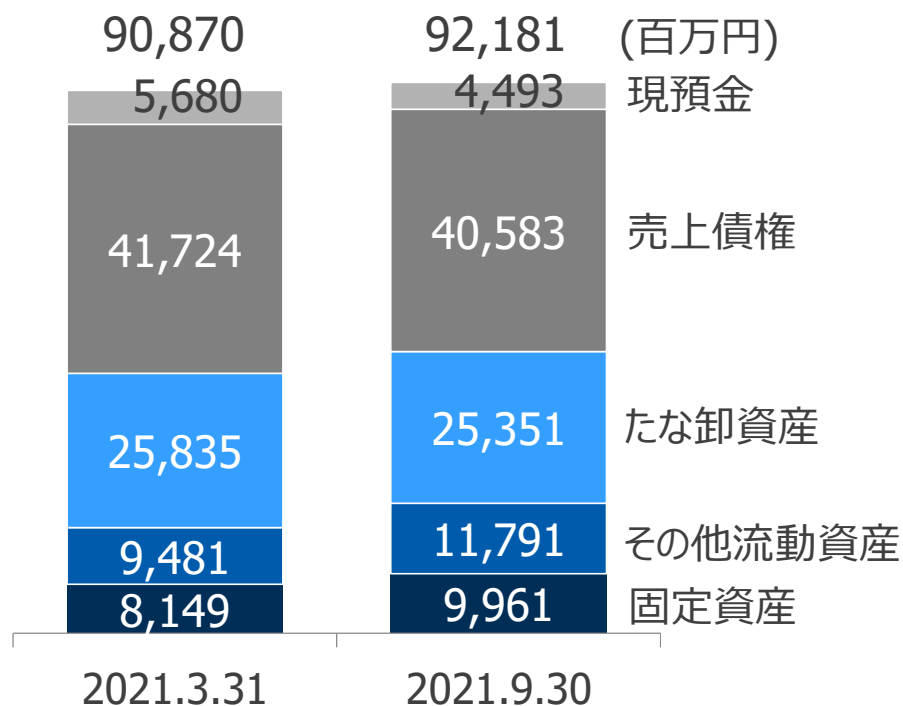
※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

# 貸借対照表



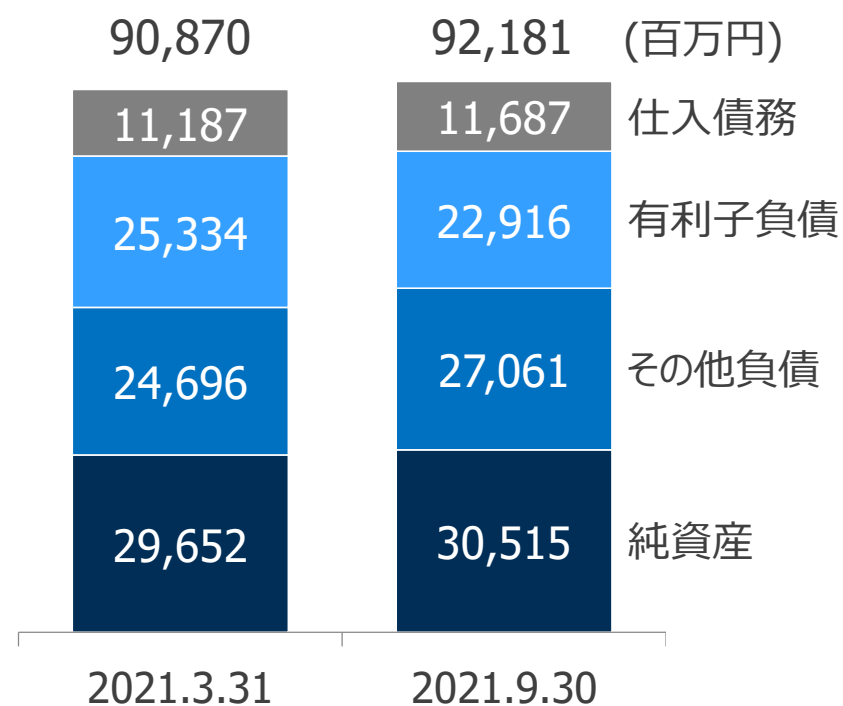
## 資産

- 売掛金回収により 売上債権減少
- TED長崎 土地建物交換により 有形固定資産増加



## 負債・純資産

- 運転資金減少に伴い 借入金返済

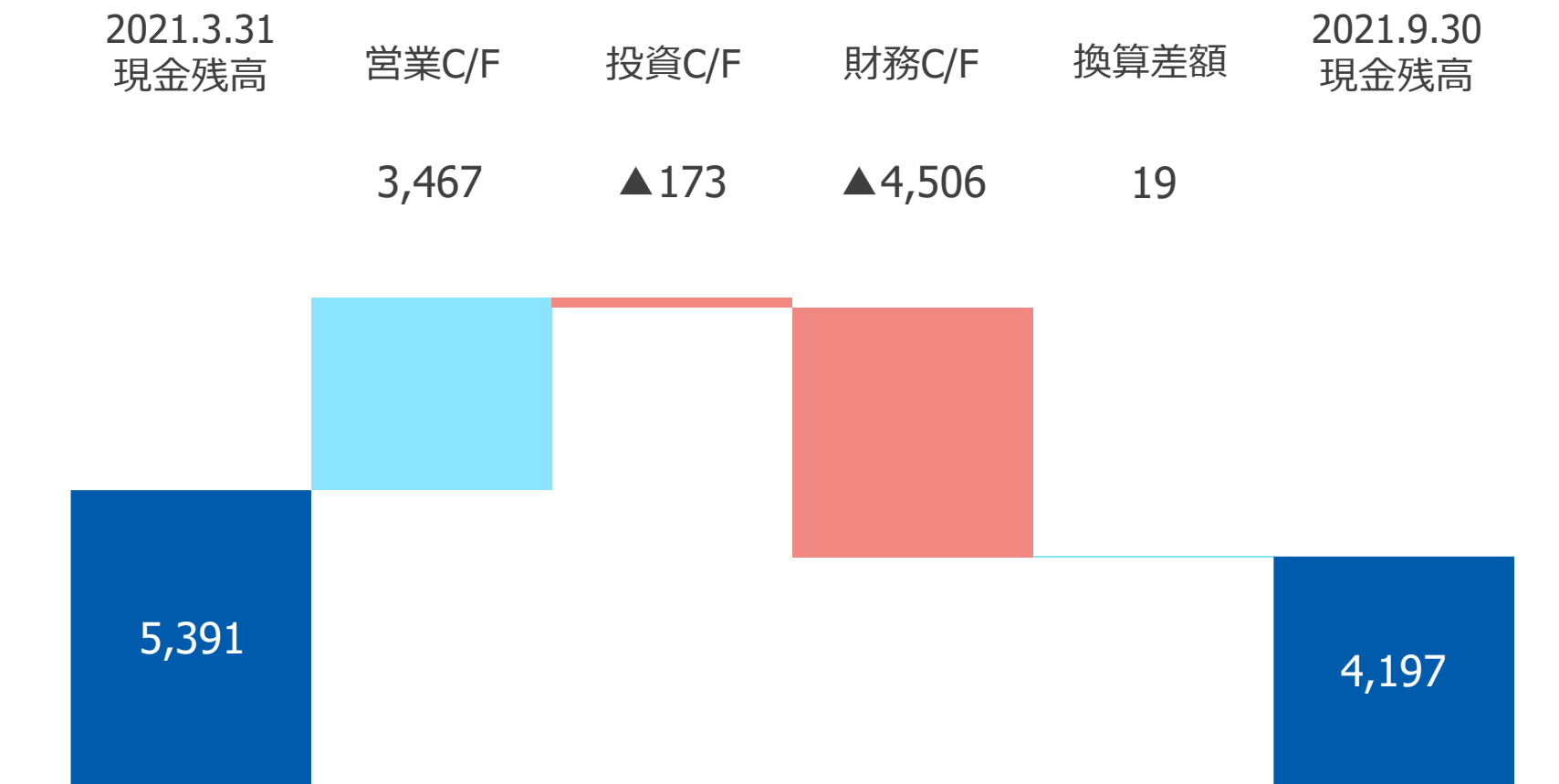


※ 新会計基準適用の影響 資産：たな卸資産減少 および 前払費用増加  
負債・純資産：前受金増加

# キャッシュ・フロー計算書

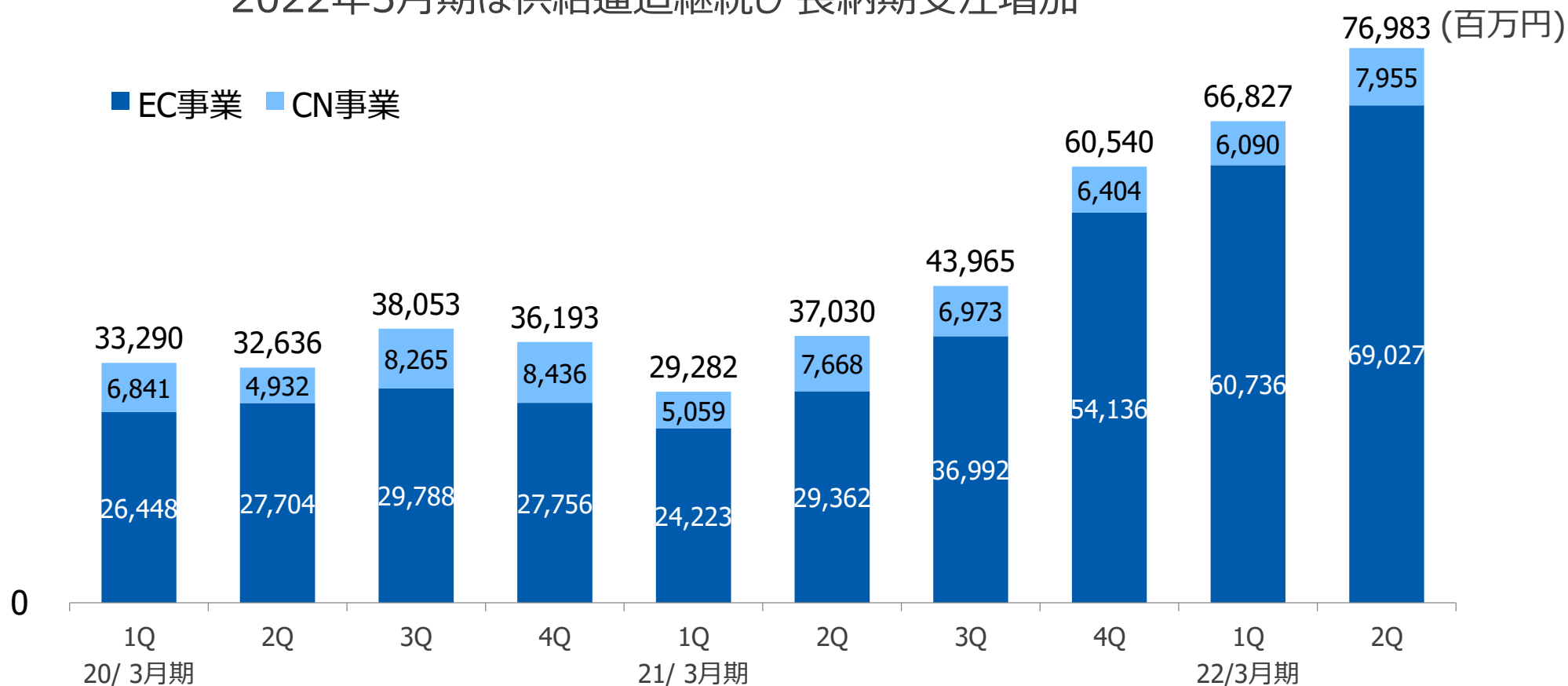


(百万円)



# 受注高の推移

- CN事業 データセンター・クラウド事業者向け 堅調
- EC事業 2021年3月期 2Q以降 商権拡大寄与 3Q以降は半導体供給逼迫影響  
2022年3月期は供給逼迫継続し 長納期受注増加







# 2022年3月期 業績見込み

代表取締役社長 徳重 敦之

# 2022年3月期 下期 事業計画前提 (1/2)



- 新型コロナウイルス感染による影響
  - ワクチン接種が進むも 鎮静化には時間を要す
  - 一方多くの製造業では 先行して回復
- 米中間の対立
  - 対立の長期化によって 融和による 経済活動の好転は期待できない
- データ通信量の増大
  - DX化の進展などにより 通信量の増加傾向が続く

⇒ **おおむね 期初の想定通りに推移 下期も継続**

# 2022年3月期 下期 事業計画前提 (2/2)



- 半導体の需給状況
  - 上期中は逼迫感が続くが 下期より改善

⇒ **下期中も 逼迫感が継続**  
**上期と同水準の 商材の供給を維持**

# 2022年3月期 業績見込み



(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			対前年比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	143,268	82,780	89,219	172,000	28,731	20.1%
CN事業	23,933	10,002	13,797	23,800	▲133	▲0.6%
EC事業(連結)	119,334	72,777	75,422	148,200	28,865	24.2%
EC事業	110,129	68,516	69,583	138,100	27,970	25.4%
PB事業	9,205	4,261	5,838	10,100	894	9.7%
経常利益 (利益率)	4,625 (3.2%)	2,481 (3.0%)	3,718 (4.2%)	6,200 (3.6%)	1,574	34.0%
当期純利益 (利益率)	3,143 (2.2%)	2,646 (3.2%)	2,553 (2.9%)	5,200 (3.0%)	2,056	65.4%

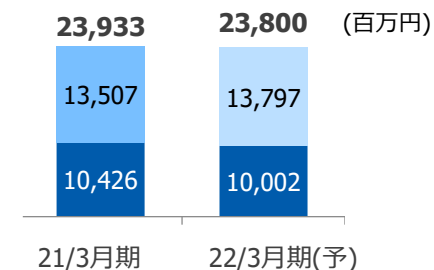
※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております

# 2022年3月期 下期 重点課題



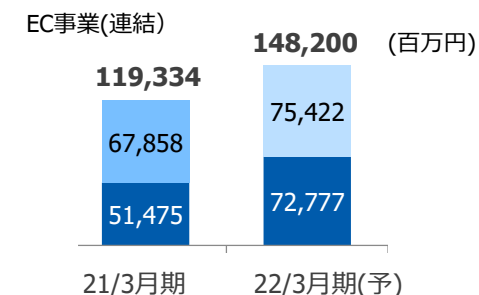
## CN事業

- **セキュリティ製品の販売促進**
- **ストレージ・ネットワーク製品の販売促進**
- **サービスビジネスの拡大（保守・監視）**



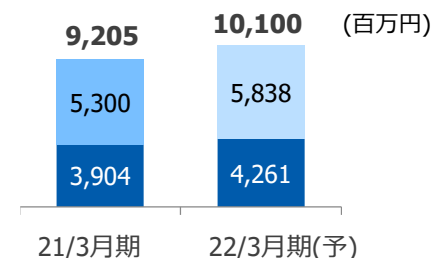
## EC事業

- **供給問題に対する納期対応**
- **産業機器及び車載機器の販売促進**
- **クラウドビジネスの推進**



## PB事業

- **自社ブランド製品の開発及び販売の強化**
- **半導体装置 産業機器 関連需要の取込み**



# 2022年3月期 下期の取組み (1/2)



## セキュリティ製品の販売促進

### ゼロトラスト セキュリティ製品



#### ※ゼロトラストセキュリティ

社内外を問わず、あらゆるアクセスに対して  
安全性の確認を行うセキュリティの考え方



ネットワークセキュリティ  
クラウドセキュリティ



セキュリティ監視・運用



クラウドセキュリティ



エンドポイントセキュリティ

# 2022年3月期 下期の取組み (2/2)

自社ブランド製品の開発及び販売の強化

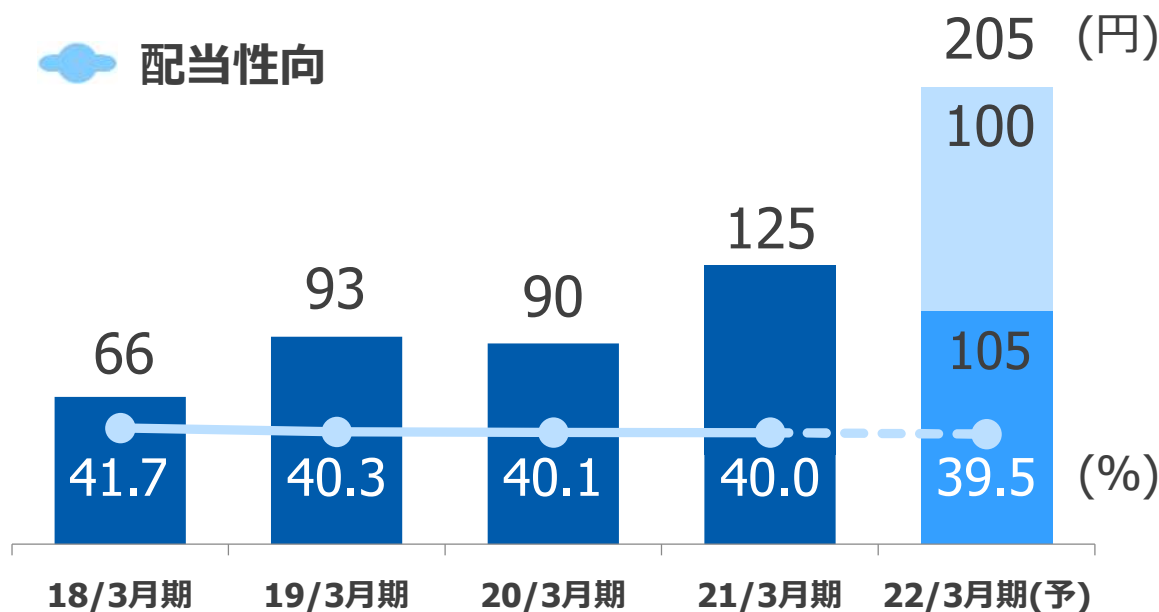
TRC (TED Robot Center) の機能向上

- 制御システム 開発
- マスターレス・ピッキング 開発
- ファースト・TEDエンジニア 一元化
  - 要素開発・応用展開の加速
  - 技術・機材の共有



# 1株当たり配当金

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
			9/6 修正予想	10/28 修正予想
中間	40円	40円	95円	105円
期末	50円	85円	95円	100円



## ● 配当政策

- 配当性向 40%
- 安定的・継続的な配当



The logo features a stylized 'C' composed of three curved segments: a blue segment on the left, a green segment at the top, and a red segment at the bottom. To the right of this 'C' is the text 'onnect Beyond' in a bold, black, sans-serif font.

#### 本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



# 補足資料

# 補足資料 一覽



- 中期経営計画 VISION2025 P28—P31
- CN事業 品目別売上高構成 P32
- EC事業 品目別売上高構成 P33
- EC事業 用途別売上高構成 P34
- 品目 P35
- 受注高・受注残の推移（EC事業） P36

# 中期経営計画 VISION2025：事業環境とMISSION



想定する事業環境

## Society 5.0 の到来

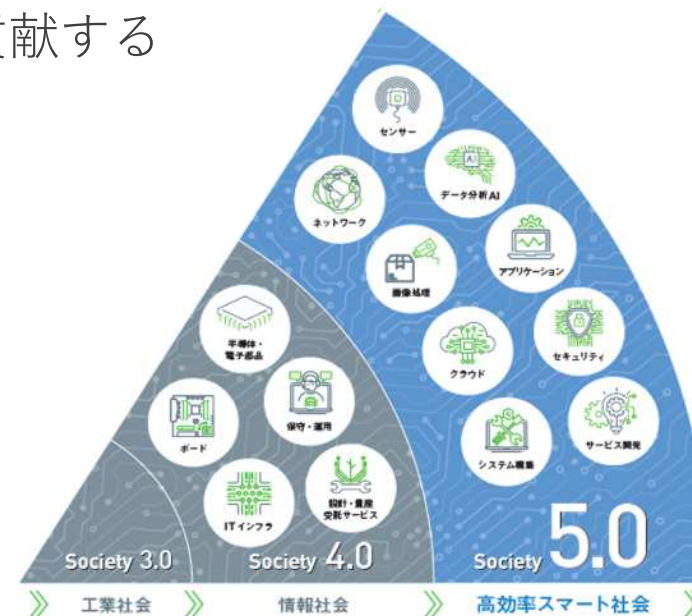
低成長経済下における  
高効率スマート社会



当社のMISSION

## DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

デジタルトランスフォーメーションを  
実現する製品・サービスを提供し  
高効率スマート社会の持続的発展に  
貢献する



## 技術商社機能を持つメーカーへ

### 進化する技術商社機能

- データ・サービス・ストックビジネスを利益源泉とするビジネスモデル
- メーカー事業の成長に資する顧客基盤の維持・拡大
- 安定的な利益基盤の構築

### メーカーとして目指す形

- モノづくりシステムメーカー
- ODMメーカー
- 課題解決型の設計開発部門
- 高効率スマート工場

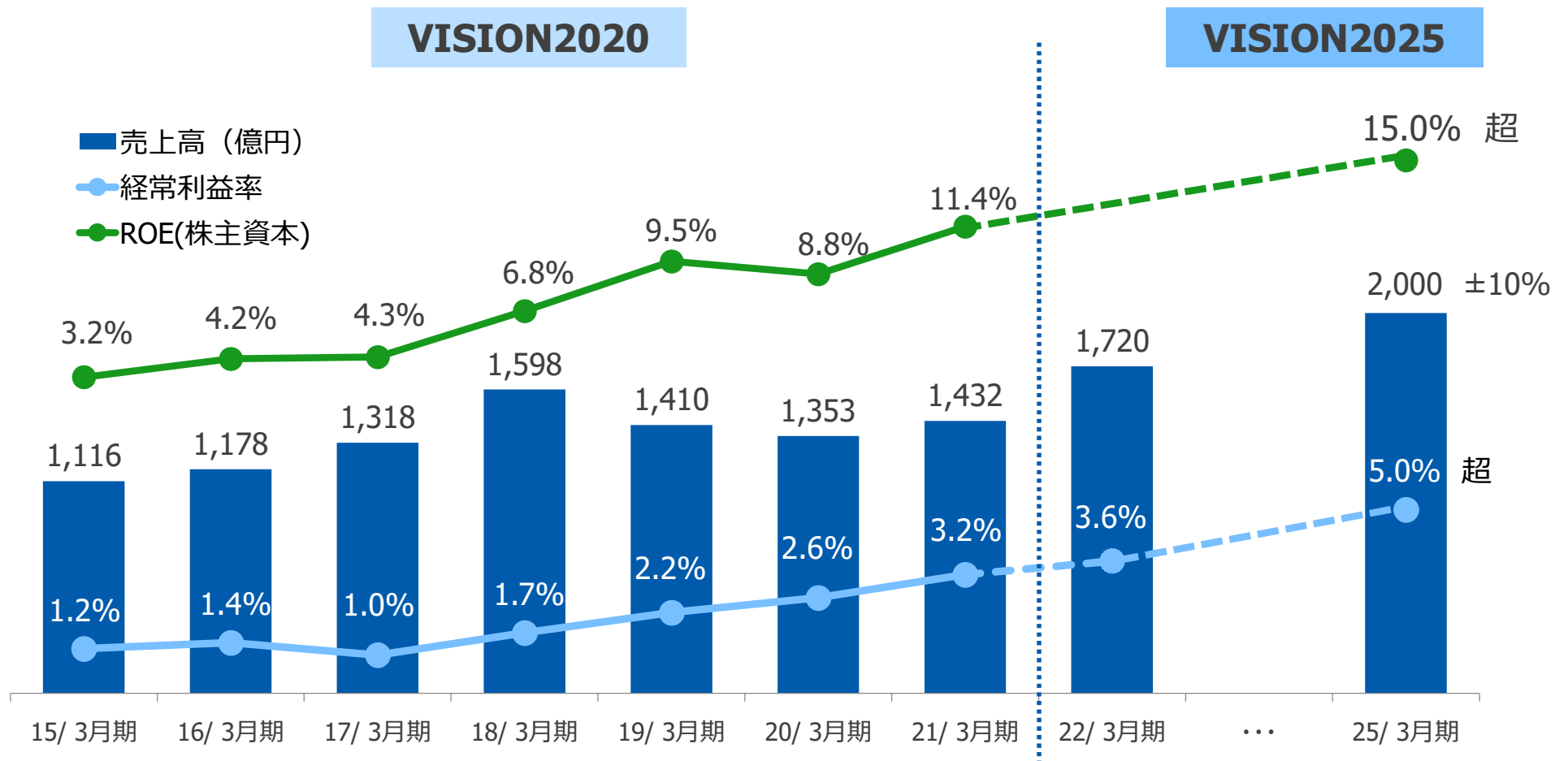
## 増益増収（増益率＞増収率）による持続的成長を目指す

2025年3月期

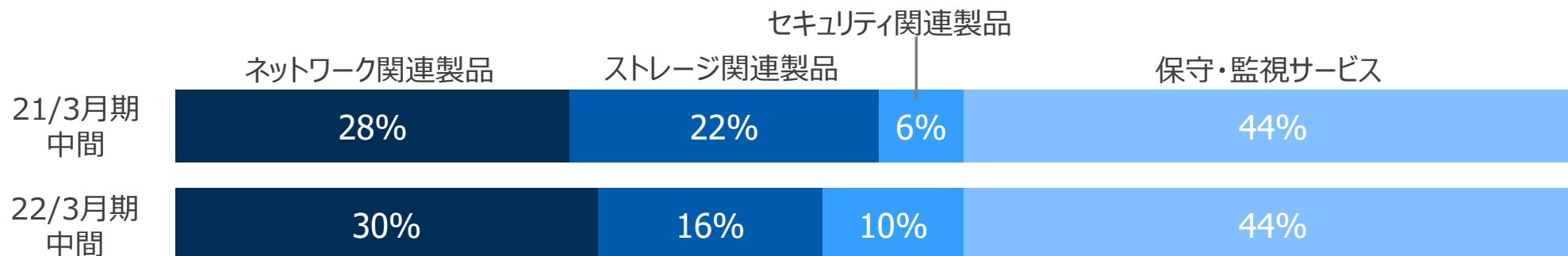
- 売上高 2,000 億円 ±10%
- 経常利益率 > 5 %
- ROE（株主資本） > 15 %

	売上高構成比	経常利益率
CN事業	20 %	> 13 %
EC事業	70 %	> 2 %
PB事業	10 %	> 10 %

# 中期経営計画 VISION2025：実績と計画



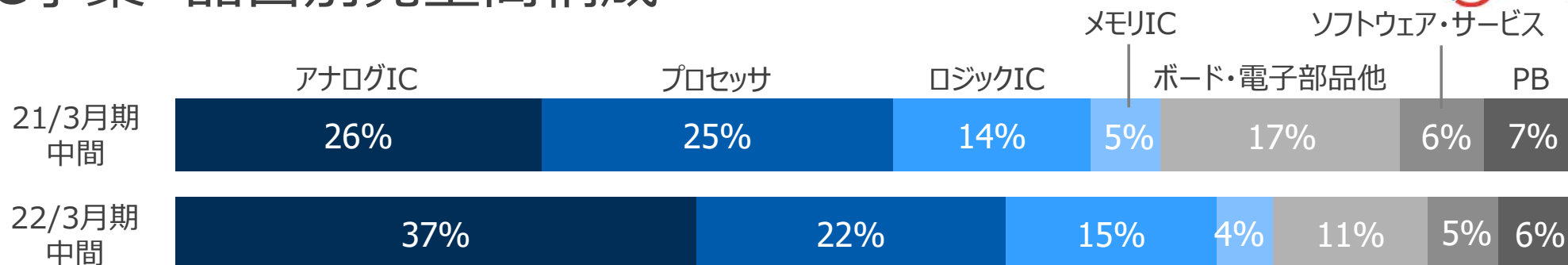
# CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	2.8%	データセンター・クラウド事業者向け機器販売堅調	F5ネットワークス アリスタネットワークス エクストリームネットワークス
ストレージ 関連製品	▲31.5%	代理店契約解消によりシステムインテグレーター向け SANスイッチ減少 データセンター向けフラッシュストレージ増加	ピュアストレージ デル・テクノロジーズ
セキュリティ 関連製品	55.2%	リモートアクセス、クラウド向けセキュリティ需要増加	ニュータニクス ネットスコープ
保守・監視サービス	▲3.6%	新会計基準適用により売上減 エンタープライズ向け、通信事業者向けに機器保守増加	TED



# EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
アナログIC	103.8%	商権拡大も寄与し 産業機器 車載機器 民生機器増加	TI / NXP
プロセッサ	26.3%	コンピュータ周辺機器 車載増加	TI / NXP/ インテル / インフィニオン
ロジックIC	52.2%	産業機器 車載 基地局向け増加	TI / NXP / ラティス / インフィニオン / マックスリア / イクセリタス / ソシオネクスト
メモリIC	10.0%	車載 産業機器増加	インフィニオン
ボード・電子部品他	▲11.5%	新会計基準適用により コンピュータ周辺機器減少 代理店契約解消で産業機器減少 通信機器増加	NXP / ウェスタンデジタル / ハギワラソリューションズ / ams / コーセル
ソフトウェア・サービス	23.5%	POS クラウドビジネス増加	マイクロソフト / マカフィー
PB	9.9%	設計・量産受託サービス TED長崎 ファースト増加	TED / TED長崎 / ファースト

# EC事業 用途別売上高構成



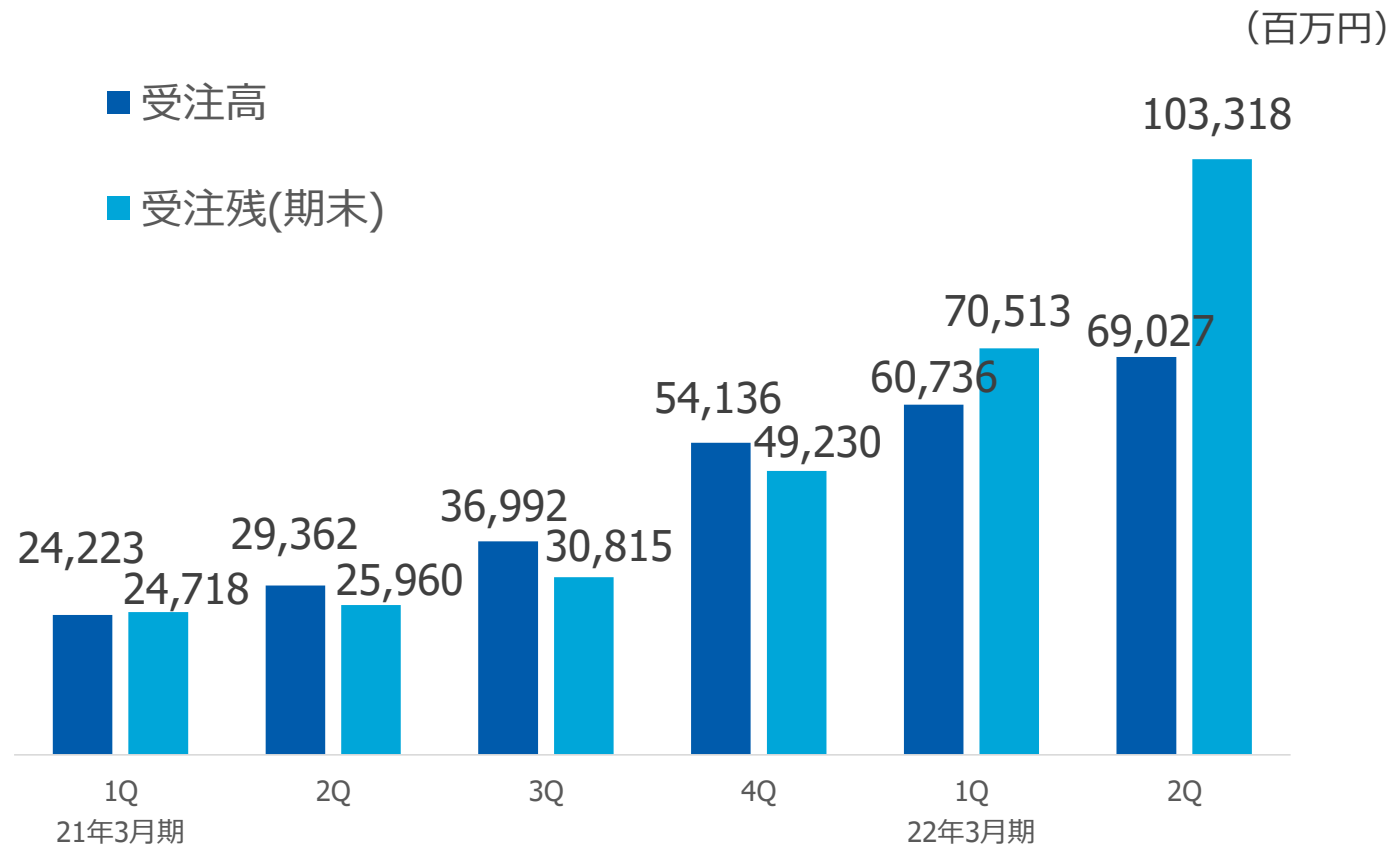
用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	28.6%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	商権拡大によりアナログIC ロジックIC増加 半導体製造装置 放送機器向けIC増加 代理店契約解消により電子部品減少
車載機器	51.7%	ナビゲーション カーオーディオ ボディ系	所要増によりロジックIC増加 商権拡大によりアナログIC IC増加
コンピュータ及びその周辺機器	49.2%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ サーバー PC及び付属機器 POS	所要増によりPCサーバー向けIC増加 商権拡大によりプロジェクタ MFP向けロジックIC増加 新会計基準適用により電子部品減少
通信機器	77.3%	ルータ 伝送装置 基地局	基地局向け 電子部品 アナログIC ロジックIC増加
民生機器	53.8%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	ゲーム機 電子楽器向けアナログIC増加

# 品目



	品目	主な製品	機能
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
	ストレージ関連製品	フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	セキュリティ関連製品	エンドポイント ネットワーク クラウド	コンピュータシステム、ネットワーク、データなどを、攻撃や 破損、不正アクセスから保護する
	保守・監視サービス	機器の保守サービス セキュリティ監視サービス	
EC事業	アナログIC	アナログIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	ロジックIC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC ASIC PLD	論理回路をパッケージ化したIC 特定用途向けに作ら れた専用IC お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ボード・電子部品他	ボード 電源 光学部品	プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品 (ボード)
	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア クラウドサービス	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア サブスクリプションでのサービス提供
	PB	設計・量産受託サービス 自社ブランド製品	お客様の仕様に応じた基板の設計・開発・量産 製造業向け機器

# 受注高・受注残の推移 (EC事業)



## 質疑応答

ご質問のある方は  
メッセージ欄にご記入いただき、  
メッセージをご送信ください。

## アンケートご協力のお願い

「アンケートにご協力ください」  
をクリックいただき、  
アンケートにご回答ください。